

第3次北竜町行財政改革

集中改革プラン

集中改革プランは、第3次北竜町行財政改革を数値化し目標年度を定め推進していくものです。

1. 効率的な行政運営の確立

(1) 民間委託等の推進

① 除雪業務の民間委託

・取組内容

現在冬期間の町道の除雪業務は、除雪臨時職員を採用し対応しているところであります。尚、一部民間委託を導入しており今後は、経費の削減とサービスの向上を目指し町道全線の完全民間委託を推進するものです。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	一部民間委託			民間委託に向けての検討	委託開始

(2) 指定管理者制度の導入

① 指定管理者制度

・取組内容

公共サービスに対する住民ニーズが多様化する中で行政がこうしたニーズに対して、より効果的・効率的に対応して行くために民間とのパートナーシップによって、民間事業者の有するノウハウを公の施設の管理にも活用していくことから、本町の公の施設について、指定管理者へ積極的移行を推進します。

・目標値①

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	協議・検討 サンフラワーパーク 玄米ばら調製施設	指定管理者制度へ移行 協議・検討 老人福祉センター 老人憩の家	指定管理者制度へ移行		

・目標値②

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
			協議・検討 加工実習センター 金比羅公園 ひまわりの里 ひまわりの里 桜並木 イデイの森 ススキ場 野球場 B&G海洋センター パークゴルフ場	指定管理者制度へ移行	

(3) 公社等の経営の健全化

① 振興公社並びに地方公営企業の健全化

・取組内容

北竜振興公社並びに地方公営企業の健全化を推進していくためには、適切かつ効率的な業務運営の環境を確保し、行政同様経営のスリム化を図る必要があります。

このことから、従前にも増した管理費の節減や改善に取り組み、健全化に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	健全化の推進				

(4) 地域協働の推進

① 町内会、まちづくり団体等との連携強化と支援

・取組内容

複雑多様化する地域課題に効果的かつ的確に対応していくためには、町内会やまちづくり団体等と行政との協働を積極的に進めていく必要があります。このことから、行政との適切なパートナーシップを構築し、協調連携を推進していきます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
		協調連携の推進			

2. 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織

(1) 組織機構の見直し

- ① 課・係の見直し
- ② グループ制の検討

・取組内容

環境の変化に適切に対応するためには、縦割り組織にとらわれず政策目標に基づき、効果的かつ効率的に事務事業を処理し得る時代に即した柔軟な組織機構の構築を進める必要があります。

このため、政策、施策、事務事業のまとまり等、住民から見ても分かり易く、更に効果的な組織機構の構築に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	組織・機構の見直しの検討 課・係の見直し グループ制の検討	新組織の運用			

3. 定員管理及び給与の適正化と人材育成

(1) 定員管理の適正化

- ① 計画的な職員採用計画の樹立

・取組内容

今後、限られた経営資源を住民ニーズに応じて効率的に配分していくためには、より機動的かつ簡素で効率的な組織が求められるとともに職員の適正な人事管理が必要です。

こうした観点から、社会情勢の変化等を踏まえ、対応すべき行政需要の範囲施策の内容及び手法を改めて見直しながら、職員の適正な配置、積極的な民間委託の推進、臨時職員の活用等を通じて職員数の抑制に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	協議・検討 (一般行政職員) 採用 3名 退職 3名	定員適正化の実施 採用 1名 退職 1名	採用 退職	採用 2名 退職 2名	採用 1名 退職 1名

※平成17年4月1日現在の総職員数は93名

平成22年4月1日の総職員数を90名以内を目標とする。

(2) 給与の適正化

- ① 諸手当等の総点検 (特殊勤務手当等)

・取組内容

地方公務員の給与については、給与制度運用における業務の性格や内容を踏まえて、その適正化を強力に推進します。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	内容検討	運用			

(3) 人材育成の推進

- ① 北竜町人材育成基本方針の策定

・取組内容

人材育成の観点に立って、人事管理、職場風土や仕事の推進プロセス改善を行い、研修機会を設けて総合的な人材育成に努めます。

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	人材育成基本方針の策定	運用			

4. 公正の確保と透明性の向上

(1) 説明責任と情報公開

① 情報公開条例等の積極的活用

・取組内容

説明責任と既存の制度の積極的活用を促進します。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	情報公開条例の活用				

5. 事務改善の推進

① 会計事務改善

・取組内容

現行の伝票経理事務の改善を図り、事務の効率化を促進します。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
		協議・検討 (伝票経理事務)	運用		

6. 自主性・自立性の高い財政運営の確保

(1) 経費節減合理化等財政の健全化

① 選挙投票所の見直し

・取組内容

道路網の整備、モータリーゼーション化の進行等により住民の行動範囲は拡大を見せています。このことから、現在3カ所の投票所の見直しを図り、町内1投票所とします。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	検討・協議	運用			

② 碧水保育所の廃止

・取組内容

社会問題であります少子化が進む中、碧水地区の保育園児数の減少から補助金の対象外となってしまうこと、またコストの面からも非常に厳しい状況から平成18年度末に廃止とし、和保育園と統合します。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	検討・協議		廃止		

③ 事務事業の見直し

・取組内容

再度事務事業の見直しを行い、自主的かつ主体的に健全な財政構造の構築に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	常時見直し				

④ 補助金の整理合理化

・取組内容

補助金・負担金については、従来から削減を図ってきましたが、更に行政として対応すべき必要性、費用対効果、経費負担のあり方を精査して見直しをおこないます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
		協議・検討	見直し		

⑤ 町内会の再編整備

・取組内容

戸数の減少により、町内会運営がきわめて難しくなっている中、地域コミュニティーの確保と町内会運営の効率化を目指し、町内会の再編整備に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
		見直しの協議・検討	→		

(2) 自主財源の確保

① 上下水道料金の見直し

・取組内容

簡易水道会計(上水)、農業集落排水会計(下水)については、公営企業会計による独立採算性での運営を行っております。

しかし、簡水・集排両会計とも財政は非常に厳しいのが実態であり、一般会計からの繰入金により運営をしております。

これらのことから、水道料金並びに下水道料金を10%~20%程度の範囲内で値上げをいたします。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	協議・検討 (下水道料金)	20%値上げ実施 協議・検討 (水道料金)	10%値上げ実施		

② 入湯税の導入

・取組内容

入湯税は環境衛生施設等に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場における入浴等の入場行為に対して市町村が課する目的税です。

今回、本町においても入湯税の導入を図り自主財源の確保に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	協議・検討	導入			

※日帰り者=大人80円/人 子供20円/人 宿泊者=150円/人

③ パークゴルフ場の利用料金の見直し

・取組内容

ひまわりパークゴルフ場は、本年新設された9ホールを加え36ホールになりました。

このことから、利用料金(年間会員も含む)の見直しをおこないます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	協議・検討	料金見直し			

※1日料金200円→400円 年間会員8,000円→12,000円

④ 使用料・手数料の見直し

・取組内容

自主財源の確保の上からも、各種使用料、手数料の見直しの検討をおこないます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	常時見直しの検討				

⑤ 税等の徴収率の向上

・取組内容

厳しい財政状況の中、自主財源であります税収への期待はますます高まっています。貴重な財源確保について、徴収率の向上に努めます。

・目標値

年度計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	徴収率の向上				